



日本シティズンシップ教育フォーラム

2025 年度 事業報告書

(2025.01.01～2025.12.31)

住所：兵庫県西宮市深津町 6 番 36-403 号

Mail：info@jcef.jp URL：https://jcef.jp

目次

1. 2025 年度事業のハイライト	2
2. 2025 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	6
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	13
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	13
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2025 年度事業のハイライト

- (1) 「第 12 回シティズンシップ教育ミーティング」は「割れ切った世界をどう修復するか？」をテーマに対面開催。日本全国から 65 名の方々が参加。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会 2025」をオンライン開催。日本全国から 96 名の方々が申し込み。報告は 32 本のエントリー。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」はオンラインで 3 回開催。
- (4) 設立 10 周年事業として『民主的社会をつくるシティズンシップ教育』をナカニシヤ出版から刊行。

2. 2025 年度事業実施体制

2025年度は以下の体制でプロジェクトチームごとに会議がもたれて事業が推進された（所属・肩書きはいつでも当時）。

【第 12 回シティズンシップ教育ミーティング実行委員会】（～2025.3.31）

猪股大輝（東洋大学文学部助教）
 小野太郎（伊丹市立摂陽小学校教諭）
 角野仁美（NPO 法人みらいず works 理事）
 金杉龍吾（青山学院大学コミュニティ人間科学部）
 川中大輔（シチズンシップ共育企画代表／龍谷大学社会学部准教授）
 黒崎洋介（神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭）
 住友翔馬（広島大学教育学部）
 土肥潤也（NPO 法人わかもののまち代表理事）
 原田伊織（NPO 法人 ASK 理事）
 藤枝 聡（立教大学総長室次長）
 古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）
 別木萌果（都立小川高等学校教諭）
 堀本麻由子（東洋大学文学部准教授）〈委員長〉
 宮崎一徳（みんなの政策研究所）

【第 13 回シティズンシップ教育ミーティング実行委員会】（2025.4.1～）

猪股大輝（東洋大学文学部助教）
 小野太郎（伊丹市立摂陽小学校教諭）
 金杉龍吾（一橋大学大学院社会学研究科）
 川中大輔（シチズンシップ共育企画代表／関西学院大学人間福祉学部専任講師）
 黒崎洋介（神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭）
 住友翔馬（広島大学教育学部）
 土肥潤也（NPO 法人わかもののまち代表理事）
 原田伊織（NPO 法人 ASK 理事）
 藤枝 聡（立教大学総長室次長）
 古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）
 別木萌果（都立小川高等学校教諭）
 堀本麻由子（東洋大学文学部准教授）〈委員長〉
 宮崎一徳（みんなの政策研究所）
 村宮汐莉（みんなの公民館まる）

【シティズンシップ教育研究大会 2025 実行委員会】

市川享子（東海大学健康学部准教授）
 井上昌善（愛媛大学教育学部准教授）
 小栗裕貴（京都教育大学社会科学科講師）
 川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）
 川中大輔（関西学院大学人間福祉学部専任講師）〈委員長〉

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

久保美奈（千葉経済大学経済学部専任講師）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター准教授）

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部教授）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

星 瑞希（北海道教育大学教育学部准教授）

若槻 健（関西大学文学部教授）

【J-CEF スタディ・スタジオ運営チーム】

伊藤真琴（お茶の水女子大学文教育学部）

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院博士課程）

小田切瑞生（山梨県立高校教諭）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター准教授）

玉井慎也（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期）

野瀬 輝（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）

浜田未貴（認定 NPO 法人カタリバ）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

【出版企画検討チーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（関西学院大学人間福祉学部専任講師）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター准教授）

古田雄一（筑波大学人間系助教）〈座長〉

【マネジメントチーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（シチズンシップ共育企画代表）〈事務局〉

黒崎洋介（神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター准教授）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

【監事】

市川享子（東海大学健康学部准教授）

西野偉彦（第一生命経済研究所主任研究員）

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第12回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第12回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。

【開催概要】

○日時：2025年3月8日（土）13時～

3月9日（日）14時30分

○場所：東洋大学 白山キャンパス

○参加者：65名

○テーマ：「割れ切った世界をどう修復するか？」

○プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）



▼オープニング

〈ファシリテーター〉

原田伊織さん（NPO 法人 ASK 理事）

黒崎洋介さん（神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭）

▼全体会「割れ切った世界をどう修復するか？」

〈ゲスト〉

山邊 鈴さん

金杉龍吾さん（青山学院大学コミュニティ人間科学部）

別木萌果さん（都立小川高等学校教諭）

大和田奈津さん（千葉大学大学院人文公共学府）

大岩彩子さん（敬和学園大学人文学部准教授）

〈コメンテーター〉

小玉重夫さん（白梅学園大学学長・東京大学名誉教授）

〈コーディネーター〉

土肥潤也さん（NPO 法人わかもののまち代表理事）

〈ファシリテーター〉

古野香織さん（認定 NPO 法人カタリバ）

浜田未貴さん（認定 NPO 法人カタリバ）

▼第1分科会「教師はどのような立場でシティズンシップ教育をするのか？」

〈問題提起〉

別木萌果さん（都立小川高等学校教諭）

〈ゲスト〉

望月一枝さん（日本女子大学研究員）

〈コメンテーター〉

遠藤梢子さん（東京学芸大学）

小玉重夫さん（白梅学園大学学長・東京大学名誉教授）

〈コーディネーター〉

猪股大輝さん（東洋大学文学部教育学科助教）

住友翔馬さん（広島大学教育学部）

▼第2分科会「地域自治の意識を耕す『公民館』をいかに実現するか？」

〈ゲスト〉

原田美彩さん（みんなの公民館まる）

藤池香澄さん（まちのBAR ママ）

島本優子さん（国立市公民館 元ボランティアスタッフ）

〈コメンテーター〉

上原直人さん（名古屋工業大学大学院工学研究科教授）

金杉龍吾さん（青山学院大学コミュニティ人間科学部）

〈ファシリテーター〉

原田伊織さん（NPO 法人 ASK 理事）

▼第3分科会「市民が法律や制度をどう作ったのか？」

〈ゲスト〉

米山廣明さん（一般社団法人全国フードバンク推進協議会代表理事）

〈コーディネーター〉

宮崎一徳さん（みんなの政策研究所）

▼全体会・クロージング

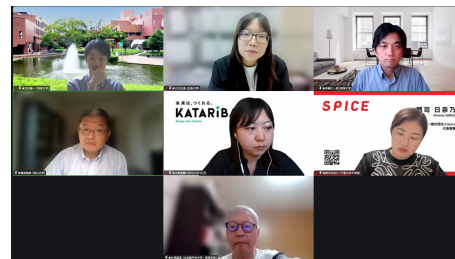
〈ファシリテーター〉

原田伊織さん（NPO 法人 ASK 理事）

黒崎洋介さん（神奈川県立横浜瀬谷高等学校 教諭）

■「シティズンシップ教育研究大会 2025」を開催

J-CEF では「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会 2025」を開催しました。



【開催概要】

- 日時：2025 年 9 月 28 日（土）10 時～17 時 30 分（アフタートーク 18 時 30 分まで）
- 場所：オンライン
- 参加者：96 名
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼シンポジウム

- ・テーマ：「現代のシティズンシップ教育の見取図を考える」
- ・登壇者：
 - 川口広美さん（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）
 - 桑原敏典さん（岡山大学学術研究院教育学域教授）
 - 郡司日奈乃さん（千葉大学大学院人文公共学府博士後期課程）
 - 杉浦真理さん（立命館宇治高等学校継続雇用教諭，大阪大学非常勤講師）
 - 古田雄一さん（筑波大学人間系助教）
 - 古野香織さん（認定 NPO 法人カタリバみんなのルールメイキング課題解決ユニットリーダー）
- ・コーディネーター：
 - 斉藤仁一朗さん（東海大学資格教育センター准教授）

▼自由研究発表セッション

[第 1-1 分科会]

司 会：若槻 健（関西大学）

副司会：原田亜紀子（東海大学）

(1)生徒参加実践における「生徒の声」の位置づけに関する研究

—X 高校三者協議会を事例として—

小澤莞介（筑波大学大学院）

(2)スウェーデンにおける外国生まれの若者の市民活動への参加に関する一考察

―若者同士や職員の関係性に着目して―

葉上千紘（大阪大学大学院）

(3)学校における校則見直しの進捗に影響を与える要因

―生徒の意見表明・意見反映との関連に着目して―

阿竹隼耶（認定 NPO 法人カタリバ）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

古田雄一（筑波大学）

[第 1-2 分科会]

司 会：市川享子さん（東海大学）

副司会：川中大輔さん（関西学院大学）

(1)市民アドボカシーによる「災害対策基本法等の一部を改正する法律案（第 217 回国会閣法第 17 号）の成立」

―専門知による政治参加促進の教育への反映―

宮崎一徳（みんなの政策研究所）

(2)学生団体を「小さな公共」として位置づけた伴走支援

―プロセスコンサルティングの視点から―

白川陽一（名城大学社会連携センター）

(3)地域福祉実践における福祉教育の価値を再考する

―ライツ・ベース・アプローチによる実践について―

西村洋己（兵庫県立大学大学院・岡山県社会福祉協議会）

[第 1-3 分科会]

司 会：北山夕華さん（大阪大学）

副司会：久保美奈さん（千葉経済大学）

(1)外国にルーツを持つ子どもに対するグローバル・シティズンシップ教育の方法に関する研究の構想

―韓国の小学校における実践を手がかりにして―

小西裕美（岡山大学大学院）

(2)外国につながる青少年等の支援団体の管理職の認識に関する探索的検討

―アメリカ合衆国の支援団体を事例として―

坂口（山田）有芸（摂南大学）

(3)言語的文化的に多様な子どもの社会との接続を図る教師の行為

―民主的文化のためのコンピテンシー参照枠を手がかりに―

細野花莉（広島大学大学院）

[第 1-4 分科会]

司 会：岩崎圭祐さん（鹿児島大学）

副司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

(1)少年院における法務教官の教育観に関する研究

—法務教官の生活史に着目して—

橋本幸弥（岡山大学大学院）

(2)シティズンシップを支える教師のポジショナリティ

—小学校における実践事例を通して—

大熊英敬（元・東京学芸大学教職大学院）

(3)イタリアの中等教育におけるシティズンシップ教育の目標に関する研究の構想

—教師に対するアンケート調査を手段として—

チョウ・バイ（岡山大学大学院）

[第 1-5 分科会]

司 会：小栗優貴さん（京都教育大学）

副司会：井上昌善さん（愛媛大学）

(1)Scratch による主権者教育ゲームの試作

内田保雄・小野創太・雑賀智子（宮崎産業経営大学）

藤本将人・坂本真人・小林博典（宮崎大学）

(2)絵本を活用した幼児の市民性育成に関する研究

—親子を対象とした読み聞かせ会の実践を通して—

JIN CHEN（岡山大学大学院）

(3)フィールドワークは高校生の人権意識にどのような変化をもたらすか

—国立ハンセン病資料館の見学から—

水野雄人（東京都立東久留米総合高等学校）

[第 2-1 分科会]

司 会：井上昌善さん（愛媛大学）

副司会：小野創太さん（宮崎産業経営大学）

(1)言語学から考える歴史教育研究

—シティズンシップ教育を目指して—

丸小野壮太(常磐大学高等学校)

榮谷温子(慶應義塾大学)

(2)中学校社会科地理的分野におけるサービslラーニングの視点からの単元開発

—世界地理 アフリカ州の授業実践を例にして—

村木龍太郎 (東京学芸大学附属世田谷中学校)

(3)北海道の子どもたちはナショナルヒストリーをどう意味づけているのか

—小学生と中学生の歴史的意義(Historical Significance)の比較分析—

澤野友甫 (北海道教育大学札幌校・学生)

[第 2-2 分科会]

司 会：橋崎頼子さん (奈良教育大学)

副司会：市川享子さん (東海大学)

(1)音楽科における市民性育成を目指した異文化理解教育のあり方に関する研究の構想

—伝統音楽を取り上げた授業開発を通して—

小西光 (岡山大学大学院)

(2)地域における過去の記憶継承に着目した教材・授業開発

—江別市のアイヌ学習に着目して—

深見瑛導 (北海道教育大学札幌校・学生)

[第 2-3 分科会]

司 会：北山夕華さん (大阪大学)

副司会：星 瑞希さん (北海道教育大学)

(1)遠い戦争と身近な暴力を結びつける国語科平和教育の研究

—戦争を自らの生活と連続する問題として捉える学習者の思考過程の分析—

樋口航生 (立命館大学大学院)

(2)「困難な歴史」を読み物としてどう教材化したのか

—小池喜孝の『北海道の夜明け』と『常紋トンネル』を比較して—

三浦幹生 (北海道教育大学札幌校・学生)

(3)Examining Patriotism Education in Social Studies: Views of Japanese Junior High School Social Studies Teachers on Patriotism

Okota-Wilson Nicholas (Okayama University)

[第 2-4 分科会]

司 会：川口広美さん（広島大学）

副司会：別木萌果さん（都立小川高等学校）

(1)恋愛が分からないのは異常か？

—恋愛感情や性的惹かれを前提とした社会規範に抗う教育実践に向けて—

末原幸統（鳴門教育大学大学院）

(2)証言的対話に基づいたアライの教育プログラムの開発

入澤充（東京大学大学院）

(3)小学校社会科の「我が国の歴史」における教科書記述は、どのような男性像・女性像を描いているのか

黒蔵優斗（北海道教育大学札幌校・学生）

[第 2-5 分科会]

司 会：久保美奈さん（千葉経済大学）

副司会：若槻 健さん（関西大学）

(1) 教育における形成的正義

—校則改正における正義の学習と教育—

小林勇樹（独立研究者）

(2)こども大綱策定・推進にみる子どもの権利保障に向けた可能性と課題

鈴木草宮駒（名古屋大学大学院）

(3)アイヌに対するステレオタイプから脱却し、マジョリティの特権性を理解する授業開発

—今を生きるアイヌの多様性に着目して—

水上嘉斗（北海道教育大学札幌校・学生）

[第 2-6 分科会]

司 会：古田雄一さん（筑波大学）

副司会：樋口大夢さん（東洋学園大学）

(1)日本の教育政策における「新自由主義」の展開過程

—臨時教育審議会の政策動向を手掛かりに—

近藤真鈴（三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社）

(2)H・アーレントの政治思想とその実践的展開に関する研究

—アーロン・シュッツ（Aaron Schutz）の理論と実践に着目して—

深谷周平（広島大学大学院・学生）

(3)社会科教育学研究における歴史と政策の結びつき

—内海巖による社会科成立期の学習指導要領に関する研究の場合—
釜本健司（新潟大学）

■J-CEF スタディ・スタジオの開催

シティズンシップ教育に係る報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタジオ」を開催しました。

〈Online スタジオ〉

- ・vol.32 (6/15)「ジェンダー平等の視点で行う社会科授業とは？」話題提供者：宗形香名さん（公立中学校教諭）、別木萌果さん（東京都立小川高等学校教諭）
- ・vol.33 (7/27)「樋口大夢著『ハンナ・アレントの教育理論』書評会——教育・政治・市民性をめぐる問いをひらく」話題提供者：樋口大夢さん（東洋学園大学）、斉藤仁一朗さん（東海大学）、浜田未貴さん（認定 NPO 法人カタリバ/NPO 法人 DAKKO）、企画・司会：田中智輝さん（山口大学）、村松灯さん（帝京大学）
- ・vol.34 (10/5)『『現代につなぐ歴史授業デザイン』に学ぶシティズンシップ教育の可能性』話題提供者：星瑞希さん（北海道教育大学）、渡部竜也さん（東京学芸大学）、進行：別木萌果さん（東京都立小川高等学校教諭）

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■『民主的社会をつくるシティズンシップ教育』刊行

設立 10 周年記念事業として、日本シティズンシップ教育フォーラム監修／北山夕華・古田雄一・川口広美・斉藤仁一朗・川中大輔編『民主的社会をつくるシティズンシップ教育』を 2025 年 8 月にナカニシヤ出版から公刊しました。



■Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告およびコミュニティの運営）、X（旧 Twitter）を更新継続しています。

○URL：<https://jcef.jp>

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

■若者の社会発信の機会提供

「シティズンシップ教育ミーティング」や「シティズンシップ教育研究大会」、「J-CEF スタディ・スタジオ」の企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会や交流機会を提供しました。

4. 会計報告

別添資料参照

以上